2021/11/19

第6学年「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」

by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

京都府教育委員会の施策「子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業」により、京都大学名誉教授
大野　照文 様をお招きして、以下の概要で探究学習を行いました。

【概要】

大昔に絶滅した三葉虫がどんな生き物で、どんなふうに暮らしていたかを三葉虫の化石の観察・スケッチをもとに推理し、子どもたち同士で対話しながら解明していく。

新学習指導要領の目標である「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」の楽しさを90分の授業で体感する。

いよいよ、探究学習の始まり。

大野名誉教授は、子どもたちを一瞬のうちに大野ワールドに引き込まれ、楽しくそして子どもたちが「思考」を働かせる授業を進められました。

授業のはじめは、「三葉虫」の化石の観察・スケッチです。できる限り、三葉虫の化石を目で見て気付いたこと、不思議に思ったことを書き出す学習です。

「三葉虫」の化石をスケッチする子どもたち１

「三葉虫」の化石をスケッチする子どもたち２

そして、大野名誉教授は、子どもたちのつぶやきを鋭く取り上げ、みんなの前で説明させられます。大野先生の質問に積極的に手を挙げ応える子もいましたが、恥ずかしがっている子どもも大野先生の楽しい雰囲気と巧みな言葉によりしっかりと気付いたことや疑問に思ったことを発表していきました。

気付いたことを発表する子どもたち１

気付いたことを発表する子どもたち２

また、大野先生は、スケッチする子どもに、また、グループでの話し合いに加わり思考が深まる問いを加えられ、その後の発表に繋げられていました。

スケッチする子どもに
思考が深まる問いを加えられる大野先生１

スケッチする子どもに
思考が深まる問いを加えられる大野先生１

グループでの話し合いに加わる大野先生１

グループの話し合いの加わる大野先生２

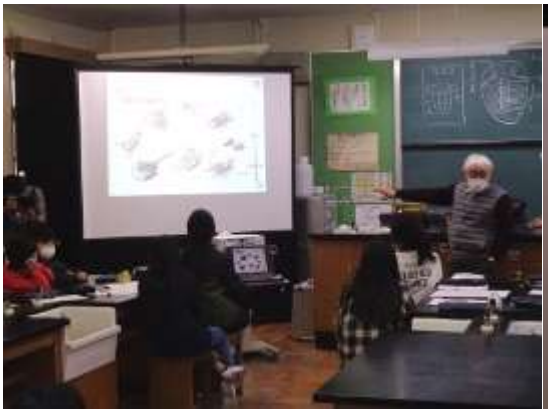
どの子でも、どのグループでも、発表が終わると、必ず、みんなで拍手を送り頑張りを讃えられます。発表した子どもたちも笑顔がこぼれ満足げな様子でした。

次に、大野先生は「三葉虫」の仲間の生き物は、何かを観察・スケッチで気付いたことを生かして予想させられました。子どもたちは、「ダンゴムシ」「カブトガニ」「トンボ」「クワガタ」「セミ」「エビ」「サソリ」「クモ」「ダイオウグソクムシ」・・・等たくさんの生き物を書き出しました。

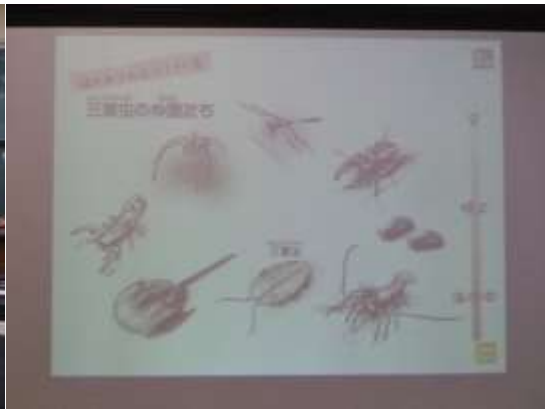
「三葉虫」の仲間と思う生き物を
書き出す子どもたち１

「三葉虫」の仲間だと思う生き物を
書き出す子どもたち２

その後、各グループ毎に発表させられた後に、写真のように「三葉虫」の仲間の生き物をスクリーンに投影されると、子どもたちが考えた生き物が概ね正解でした。



「三葉虫」の仲間の生き物を説明される大野先生

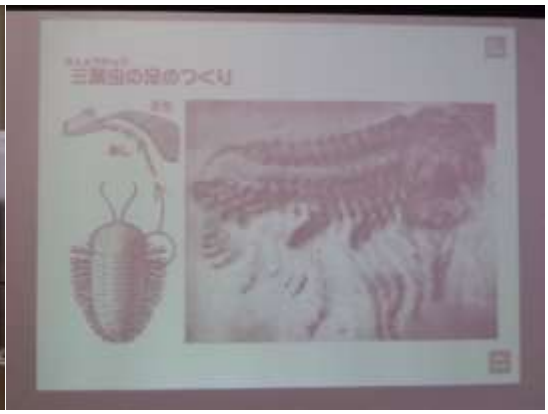


「三葉虫」の仲間の生き物

子どもたちが知識として持っている生き物の特徴と、じっくり観察して気付いた「三葉虫」の特徴がピタリと合っていたのです。子どもたちは、自分の考えが合っていることに驚きと喜びを感じ取り考える楽しさを実感していました。

次に、大野先生は、「三葉虫」が海の中に生息していた生き物であることがどうして分かるのかを考えさせられました。好奇心旺盛な子どもたちが、「『エラ』があるのではないか。」と解答すると、「鋭いね」と褒められた後、「三葉虫」レントゲン写真を投影され「エラ」の存在を説明されました。

「三葉虫」のレントゲン画像を投影し「エラ」について説明される大野先生

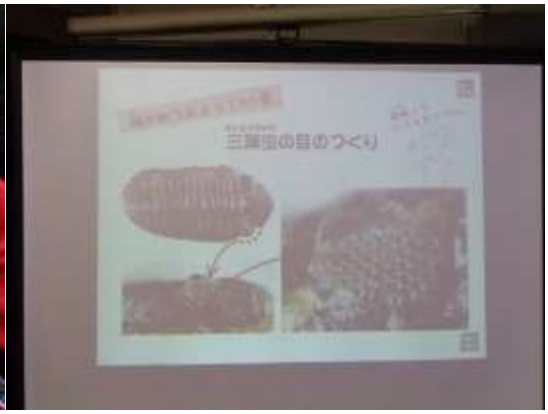


投影された「三葉虫」のレントゲン写真

「しかし、『エラ』があっても、川や湖に生息していたとも考えるのでは。」と切り替えされます。子どもたちは、海に生息していた根拠を考えます。そして、ある子が「『三葉虫』が発見された同じ場所で、魚の化石や珊瑚の化石などが発見されたのではないか。」などの意見を出しました。大野先生が出される問いは子どもたちの考える意欲をかき立たせ考えを深めていくものでした。

最後の問いは「三葉虫」の「眼」に視点を当て、化石のどの部分が「眼」なのかを問われました。子どもたちは、化石の上部にある二つの膨らみに目をつけて正解を発表。その眼が、どのような眼であるかを考えさせられました。そこで、子どもたちは予想して出した「三葉虫」の仲間の生き物から「トンボ」に着目し、絵に表すとともに「複眼」という答えが出てきました。その後、「三葉虫」の眼が確認できる「化石」をグループに配られ、子どもたちは「複眼」を確認しました。

「三葉虫」の化石で複眼を確認する様子



投影された「三葉虫」の目のつくり（複眼）

そして、授業の最後には、とても大きな「三葉虫」（体長役 70ｃｍ）の標本を見せてくださいました。

「巨大三葉虫」の化石を見せてくださる大野先生

今回の学習で、大野ワールドに引き込まれた子どもたちは、「三葉虫」を手がかりに、知的好奇心をかきたてられ、思考を働かせ、さまざまな学びから深い学びへと導かれていきました。

大野名誉教授は、学習を終えた子どもたちの意欲的な学習を褒め称えられ、全員で全員に拍手を送り「子どもの知的好奇心をくすぐる体験学習」は「もっと学習したいな」という余韻とともに終了しました。

大変貴重な「主体的・対話的で向かい学び」、探究学習に子どもたちは導いてくだった大野名誉教授、本当にありがとうございました。

22:53

2021/11/18

第4学年交通安全教室「学科テスト・自転車実技走行テスト」の実施

by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

本日、第4学年の交通安全教室を開催しました。内容は、以下のとおりです。

【学科テスト】

昨日までに実施済み

◆内容：交通法規と一般常識に関わる問題15問（○×方式）

道路標識の意味に関する問題5問（3択）

第2校時：運動場での自転車走行実技練習（法規コース6項目、技術コース2項目）

第3校時：自転車走行実技テスト

◆法規コース：①発進、②駐車車両の側方通過、③信号機交差点の右折、④T字路の右折、⑤一時停止のある交差点の左折、⑥停止

◆技術コース：①ジグザグ走行、②狭い通路の安全な走行

今回の交通安全教室では前述のとおりの学科テスト、自転車走行実技テストを実施し、その結果により田辺警察署から自転車運転免許証が交付されます。

４年の子どもたちは、田辺警察の方から交通ルールや自転車走行実技テストについての話を聞き、その後、自転車走行実技練習をしてテストに臨みました。

実技走行テストの説明を聞く子どもたち

技術コース試験のジグザグ走行には苦戦しましたが、法規コース、技術コースともに一生懸命に取り組みました。

発進の様子

駐車車両の側方通過の様子

信号機交差点の右折後の様子

T字路の右折の様子

一時停止のある交差点の左折の様子1

一時停止のある交差点の左折の様子2

停止後の自転車から降りる様子

ジグザグ走行の様子

狭い通路の安全な走行の様子

今回の交通安全教室で学んだ知識と技能を活かして、安全な自転車走行を心がけてほしいと思います。

交通安全教室を中心になって進めてくださった田辺警察署員の方々、また、当日、自転車を提供してくださったご家庭の方々、自転車走行実技練習及びテスト時に指導補助として協力していただきました、見守り安全パトロール隊　奥村　太門　様、本当にありがとうございました。

17:47

2021/11/17

第5学年理科タブレットを活用した「流れる水のはたらき」の学習から

by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

本校の第5学年では、「理科」を5年2組担任の小西先生が、音楽・家庭科を5年1組担任の宮國先生が2クラスともに教えています。（一部教科担任制）

今日、5年1組の教室では、小西先生により理科「流れる水のはたらき」の学習を行っていました。

単元の目標は以下のとおり

【単元の目標】

流れる水のはたらきと土地の変化に興味をもち、見いだした問題を追究する活動を通して、流れる水には地面を削ったり、石や土を運んだり積もらせたりするはたらきがあることや、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形が違うことをとらえることができるようにする。また、長雨や集中豪雨に伴う川の増水による災害や、防災・減災、くらしを支える水資源についても意識を高めるようにする。

前時に子どもたちがタブレットで動画撮影した映像を見ながら、「流れる水のはたらき」【削る・運ぶ・積もらせる】について以下のめあてで実験結果からわかることを考えていきました。

【めあて】：実験の結果から分かることをまとめよう

タブレットで動画撮影すると、何度も実験結果を再現することができじっくり考えることができます。
子どもたちは、自分たちで撮影した動画を何度も見返して、つぎのような考えを持ちました。

流れる水のはたらきについて撮影した動画を見て考える子どもたち1

流れる水のはたらきについて撮影した動画を見て考える子どもたち2

流れる水のはたらきについて撮影した動画を見て考える子どもたち3

◆土が**たまっている**ところがある。
◆川の内側に砂が**たまっている**。流れがゆっくり。外側は何もたまっていない。速く流れている。
◆最初は、削れていなかったところが**削れた**。
◆**下の方に**砂利が**たまっていた**。
◆砂が**たまって**、なめらかな感じ
◆最初は何もなかったが、土が**削られて**根っこが出てきた。など

そして、発表時には、小西先生がタブレットに備わっている「ミラーリング」（タブレット上の画面を電子黒板に送信し投影させる技法）を子どもたちに教え、グループ毎に発表していきました。

グループで話し合い考えたことの発表1

グループで話し合い考えたことの発表2

補足説明をする小西先生

最後は、子どもたちが考えたことから、共通するキーワード【たまる・削られる】を見つけ出すとともに、「削られた」砂・土が「下の方」に「たまる」ことから、流れる水が砂・土を「運ぶ」とう働きもあることを導き出し、「流れる水のはたらき」についてまとめました。

16:49

2021/11/16

11月16日(火)防犯指導・防犯訓練を実施

| by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

本日は、学校内に不審者が侵入したという想定で防犯訓練を実施しました。実施前には、学級活動で不審者が学校に侵入したときの避難の仕方を学習しました。

また、通学途中に不審者に会ったときの避難の仕方としては、

・「こども１１０番のいえ」に助けを求める。

・「見守り安全パトロール隊」の人に助けを求めるなど、

留守番中に知らない人が来たときは、家の中に入れない。道路などで知らない人に声をかけられてもついていかないなど、自分の命・安全を守る学習を行いました。

学習プリントで命・安全を守る行動について話を聞く子どもたち

防犯訓練では、教職員も役割分担に従って訓練しました。特に、不審者対応としては、教室、職員室等に備え付けている「さすまた」を持って不審者を取り押さえるシミュレーション訓練を行いました。

不審者役の教頭先生を

さすまたを持った教員が取り囲み・・

子どもたちも、校内放送や担任の先生の指示に従って、安全確保後に速やかな避難を行いました。

子どもたちが避難してくる様子

しっかりと話を聞くことができていました

今から、２０年前の６月、大阪府池田市にある大阪教育大学附属池田小学校で起きた凶悪事件を忘れず、子どもたちの命・安全を守る組織的で迅速な対応ができるように、また、子どもたちに自分の命・安全を守る行動がとれる力を付けていかなければなりません。

17:00

2021/11/15

第１学年創意ある教育活動の時間「プログラミング」の学習から

| by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

本校では、第１，第２学年において「創意ある教育活動の時間」を教育課程に位置づけ、「国際理解教育」や「情報教育」「人権・福祉教育」などの学習を行っています。１１月１１日（木）のＨＰでは「国際理解教育」について紹介しましたが、今日は情報教育の中の「プログラミング」学習について紹介します。

今日、第１学年では、第３校時に１年１組、第４校時に１年２組が「プログラミング」の学習を行いました。

宇治田原町で契約いただいているＩＣＴ支援員の方のご指導でプログラミングソフト「ビスケット」を使って以下の手順で「動くアート」を創りました。

1　色を選んで図【丸】を描き写真のように眼鏡型の左側に入れます。

2　同じ図【丸】眼鏡型の右側に入れます。

3　眼鏡型の左側に「指でタッチ」するアイコンを入れます。

4　眼鏡型の右側に、ドレミファ等の「音が出る」アイコンを入れます。

１～４の指令を入れると、「画面上で図【丸】を指で触れるとドレミファの音が出る」というプログラミングができたことになります。

学習内容を説明するＩＣＴ支援員山口先生

手順１，２，３，４を行う様子

そして、さらに図【丸】が「くるくる回る」という指令、違った図【小さな粒がいくつか出る】が出る指令を入れます。すると、画面上で、指で図【丸】に触れると、ドレミファの音とともに、図【丸】がくるくる回り、小さな粒が出てくることになります。

この一連の図による表現をたくさん組み合わせることにより、写真のような動くアートが出来上がります。

いろいろな表現を入力する様子

出来上がった動くアート１

また、写真のように、違った作品を仕上げている子もいました。

違った作品を創る様子

出来上がった動くアート２

授業の様子を教育委員会と町議会議員の方が参観されましたが感心されていました。

16:51

2021/11/12

高学年が持久走記録会の「試走」を実施

by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

今日は、持久走記録会に向けて、高学年が第３校時から第６校時にかけて１クラスずつ「試走」を実施しま

した。

第３校時にグラウンドに行きますと、６年１組が「試走」を行うところでした。

「試走」の説明をする担任の濵野先生

第１グループのスタート

高学年は、グラウンドに設定した１５０ｍの周回コースを１０周、１．５ｋｍを走ります。

２グループに分かれて、「走る子」と「記録・アドバイスをする子」でペアを作り、毎時間、個人目標を立ててペースランニングに取り組んできました。

周回コースを走る６年生１

周回コースを走る６年生２

「記録・アドバイスをする子」は、「走っている子」の周回毎の記録を取るとともに、ペアが立てた目標に沿って、アドバイスをしていました。

中には、走っているペアと一緒に走りながらアドバイスを送る子もいてペアの子を想う優しい気持ちを感じ取ることができ大変嬉しく思いました。

伴走しながら友達にアドバイス

高学年の校内持久走記録会は、来週の金曜日です。

16:52

2021/11/11

第1学年創意ある教育活動の時間「国際理解教育」の学習から

by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者

本校では、第1，第2学年において「創意ある教育活動の時間」を教育課程に位置づけ、「国際理解教育」や「情報教育」「人権・福祉教育」などの学習を行っています。

本日、第1時間目に1年2組の教室に行きますと、ちょうど「国際理解教育」の学習をしていました。

11 月から本校のALTとしてお世話になっていますシャスティン・レア・ジェームス先生とともに、今月の8日に来町、今後、主に田原小学校でお世話になります
新ALT ザナヤー・バプティスト・ジャリエンヌ先生が自己紹介をされているところでした。

新ALTのザナヤー先生は、アメリカのジョージア州アトランタ出身。アメリカの大学では日本語を専攻されていたということで、自己紹介後の子どもたちの質問にも優しく丁寧に答えていただきました。

子どもの質問に答えるザナヤー先生

ザナヤー先生の自己紹介後は、今日の学習。「いろいろな色の英語表現に親しもう」というめあてで、学習しました。

はじめに、ジャスティン先生がいろいろな色で描かれた動物が出てくる絵本の読み聞かせをしてくださいました。

絵本の読み聞かせの様子1

絵本の読み聞かせの様子2

絵本の読み聞かせの様子3

絵本の読み聞かせの様子4

その後、色別のカードを黒板に提示し、ジャスティン先生がそれぞれの色を英語で発音。その後に、子どもたちがリピートする形で学習が進みました。

いろいろな色を英語で発音

しばらくして、ジャスティン先生がいくつかの色カードを指差し、その色の英語表現を子どもたちに求めますと、子どもたちなりにその色を英語で発音していました。

日常生活の中で親しみのある「Red」「Pink」「Black」「Green」「Yellow」「Blue」などは、自然と子どもたちの中に入っていることが分かりました。

16:31